



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

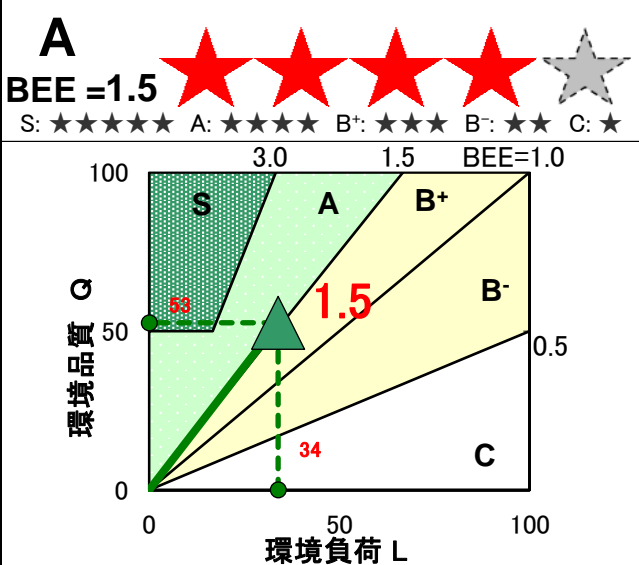
1-1 建物概要

建物名称	(仮称) 北区中崎1丁目集合住宅 新築工事	
建設地	北区中崎1丁目	
建築用途	共同住宅(分譲)	
建築主		
設計者		
敷地面積	2,905.57	m ²
建築面積	1,059.53	m ²
延床面積	29,001.05	m ²
構造/階数	RC造 / 地下1階、地上38階	
完了年(予定)	2027年1月	

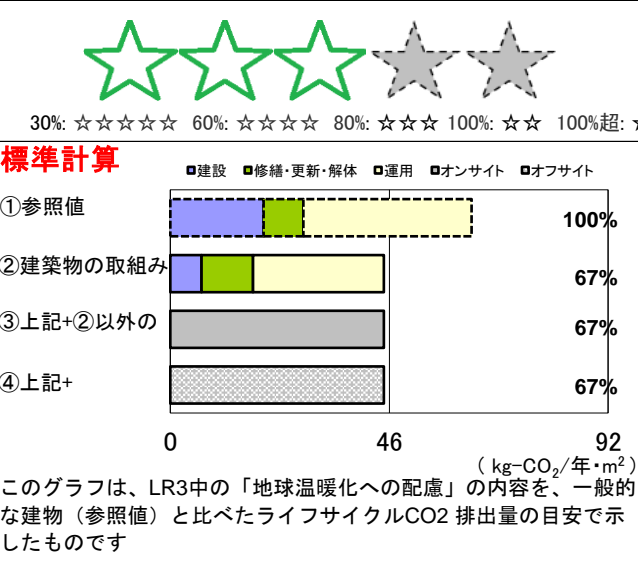
1-2 外観



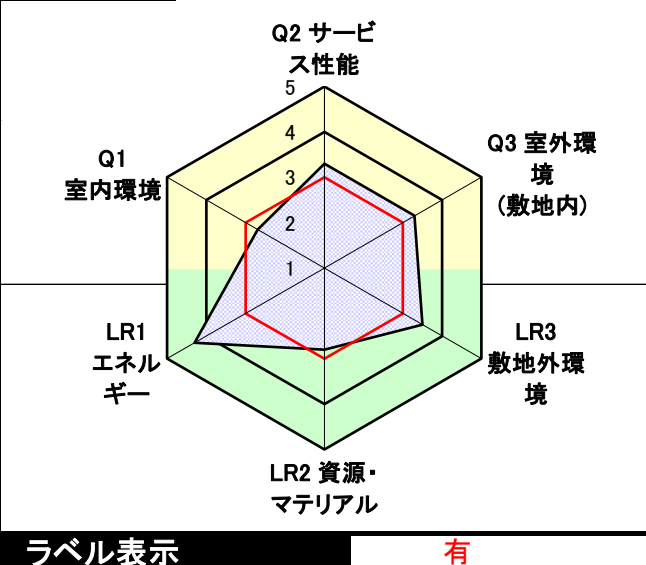
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



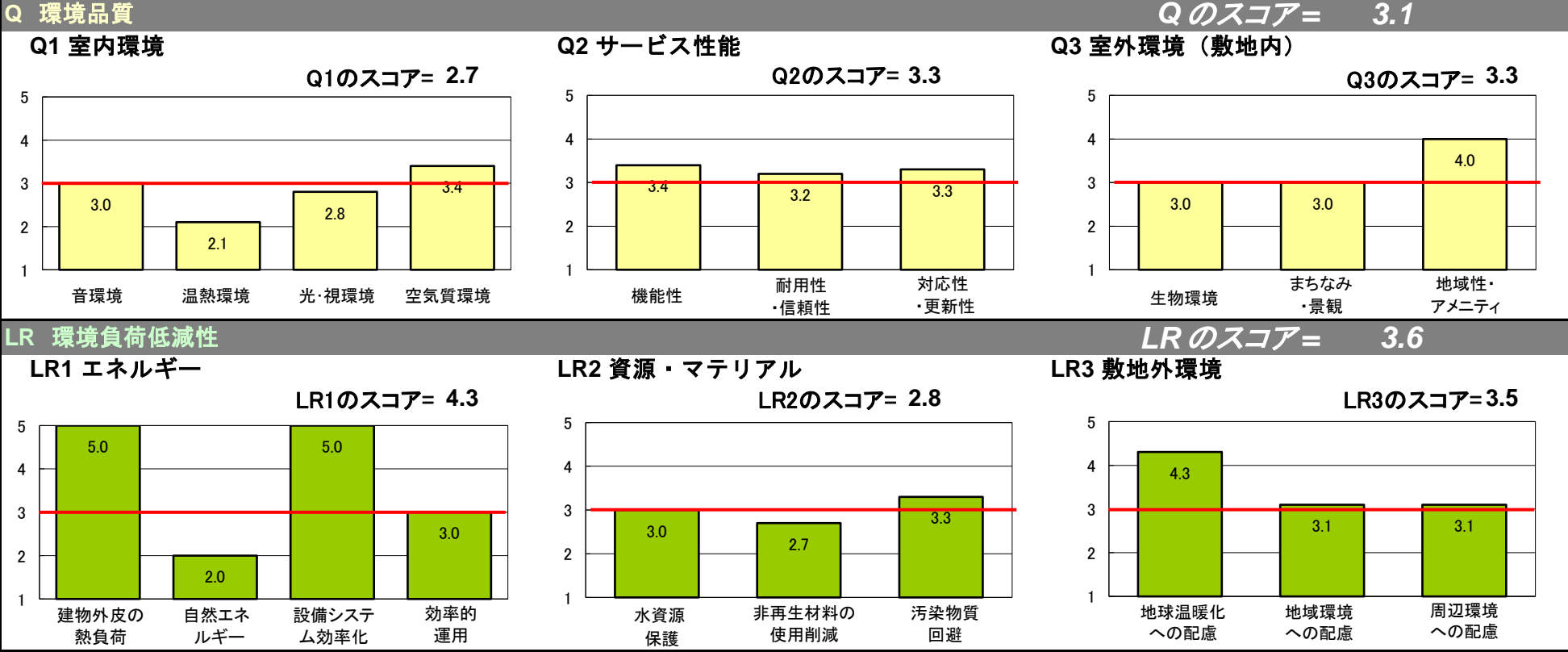
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、強化外皮基準を満たす外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えれるよう努めた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 建築材料にはほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を採用し、ホルムアルデヒドの放散量が少ない建材を採用することで、空気質環境の向上を図った。	Q2 サービス性能 各住戸にGbitクラスのプロードバンドを整備し、機能性の向上を図った。また、耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くし、耐用性の向上を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 公開空地を設けて地域の憩いの場に供するとともに、地上部だけでなく屋上緑化や壁面緑化も行い、地域性・アメニティへの配慮を行っている。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施すとともにLow-E複層ガラスの採用により外皮の熱負荷抑制に努め、また、高効率給湯器(コージェネレーション)やLED照明などの設備の効率化への取組をし、ZEH-M Readyを満たす省エネルギーに配慮した建物としている。	LR2 資源・マテリアル オゾン破壊係数と地球温暖化係数が低い断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用の回避に努めた。	LR3 敷地外環境 躯体の長寿命化や設備システムの高効率化により、ライフサイクルCO2を抑制し地球温暖化への配慮をしている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.3
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	気象台既存データを用いて風光風速卓越風などの風環境を把握している。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5の水準とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4を超える（相当）	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
一次エネルギー消費量	0.61	0.61	-